

黒目川流域河川整備計画の概要

黒目川流域とは？

黒目川流域とは、荒川水系の新河岸川に注ぐ黒目川・落合川の流域のことで、東京都北部と埼玉県南部に位置しています。

東京都の黒目川流域内にある一級河川は、黒目川、落合川の2河川です。流域面積37.6km²のうち、東京都区域は18.6km²で、多摩北部の東久留米市、東村山市、小平市、西東京市の4市に及びます。

黒目川は、小平霊園内を源として、東久留米市から新座市を流下し、朝霞市台で新河岸川に注ぐ全延長17.3km（東京都内の延長4.3km）の河川です。

また、落合川は、東久留米市八幡町付近を源とし、都県境付近の同市神宝町で黒目川に注ぐ、延長約3.4kmを有する河川です。



落合川：東久留米市南沢付近



黒目川：東久留米市小山付近

流域の特徴

黒目川流域は、昭和30年代頃より急速に都市化が進展し、それまで山林や畑地に浸透していた雨水が、地表面を流れて河川に一気に流入することによる水害が、多発するようになりました。

これまでに、黒目川や落合川で護岸や調節池の整備を進めてきたことにより、最近では大規模な水害が発生することは少なくなりましたが、依然として水害の危険性が高い箇所が残されています。



台風により浸水した住宅地(平成11年8月)
東久留米市下里付近

河川整備の目標

黒目川流域では、洪水に対する安全性を向上させると共に、生態系に配慮した川づくりや、水辺に親しめる川づくりを進めていきます。

計画対象区間と期間

計画対象区間は、東京都管理区間の黒目川、落合川の2河川です。河川の整備から維持管理に関することも含まれます。

計画期間はおおむね20年を目標としていますが、川をとりまく状況の変化や社会状況の変化に応じて見直しを行います。

河川の整備

治水・・・洪水による水害の防止又は軽減

1時間あたり50mm規模の降雨により発生する洪水を安全に流すことができる河川の整備を進めます。



拡幅前の昆沙門橋
落合川（東久留米市南沢付近）



拡幅後の昆沙門橋
落合川（東久留米市南沢付近）

川を拡げ、
洪水を安全
に流します

環境・・・河川環境の保全、創出、再生

残されている自然環境を可能な範囲で保全すると共に、水辺に親しみを持てる身近な川を目指します。



保全すべき河畔林
落合川（東久留米市南沢付近）



親水性に配慮した緩傾斜護岸の整備
落合川（東久留米市南沢付近）